

30-70 8/5

<小学館集英社プロダクション 浜名湖ボート転覆事故への取り組みについて>

皆さま方に多大なご迷惑をおかけしたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。運営管理者としての責任を痛感しながら、日々取り組んでいる現状をご報告します。6月18日以降、弊社は静岡県教育委員会「県立青少年教育施設等安全対策委員会」および二つの作業部会に参加し、事故原因の究明と事故再発防止対策に取り組んでおります。また弊社としても事故対策本部を中心に、事故に至る経緯の検証、また再発防止に向けて安全管理体制、運営スタッフ、設備関係の見直し等、運営マニュアルの再整備をすすめております。

<弊社の取り組む安全対策>

① 事故対策本部の設置

事故発生直後の様々な課題へ対応するため、発生当日に「緊急事故対策本部」を開設し、事故状況の掌握、関係各所との調整にあたりました。7月より長期的に対応するため、他部署を含めた常設の「三ヶ日事故対策本部」を設置。静岡県教育委員会とともに事故にいたるまでの経緯の確認や、被害にあわれた方々へのケア等、あらゆる要請・ご要望に、誠実に対応してまいります。また、カッターボート指導の日本における第一人者財部二千六（たからべふぢろく）氏（国立江田島青年の家等をはじめとする野外活動施設所長を歴任）をアドバイザーに迎え、事故の検証と安全対策における積極的な助言をお願いし、今後の指導・運営マニュアル整備に最大限生かしていく予定です。

② 安全対策委員会

弊社が手掛ける全事業の安全性の見直しをするため、「安全対策委員会」をただちに設置し、運営マニュアルにおける安全対策の再検討再構築に取り組んでいます。今後は、内部監査によるチェックも行い、より普遍的な安全性を追求していく所存です。

③ 「安全確認の日」の制定

弊社は、今回の事故を重く受け止め、全社員が「安全確認」の重要性を強く認識するために、この6月18日を「安全確認の日」と決めました。この日の出来事を忘れずに、二度とこのようなことを起こさないとの誓いのもと、業務に取り組む所存です。